

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2020-11-01

No. 125

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-11:2020 Ed. 3.0 (2020-01) – 電圧ディップ等イミュニティ試験(2/2)	3
IEC: 規格解説: 家庭用電気機器の安全に関する規格 IEC 60335-1 の改訂版第 6 版を発行	7
IEC: 新規格リスト	9
ISO: 新規格リスト	11
UNECE: 車両規制の調和のための世界フォーラム第 181 回が、オンラインで開催(3/3)	13
国際テーマ: 「メイドイン USA」の表示に関する規則案	14
国際テーマ: 家庭用電気機器および IT 機器の新版メキシコ規格について	14
国際テーマ: エネルギーラベリングとエコデザインの欧州規則の変更提案	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	16
USA: FCC: KDB: 送信モジュールデバイスならびに送信モジュールを組み込んだ機器の認可	17
USA: FCC: Metrom Rail 社の適用免除要請: UWB ベースのポジティブ列車制御システム	18
USA: FCC: ロバートボッシュ社等: デジタルミラーシステム装備の商用自動車を可能に	19
USA: FDA: 医療機器の適合性評価のための認定スキームのパイロットプログラムを開始	19
USA: NIST: スマートグリッドの相互運用性に関する規格に対する NIST フレームワーク	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	22
カナダ: ICES-003 – 情報技術機器 (デジタル機器を含む)、第 7 版が発行	23
EU, UK: 2021 年 1 月 1 日からの UKCA マークの使用についてのガイダンス (2/2)	25
EU, UK: 車両: 2021/1/1 からのグレートブリテン型式承認の発行に関する最新のガイダンス	27
EU: CENELEC: 新規格リスト	30
EU: ETSI: 新規格リスト	32
中国: SAMR: ケーブル、防爆電気製品等の品質と安全性に関する特別な改善の実施	34
中国: CNCA: 強制製品認証実施規則の概要 (更新日: 2020 年 6 月)	34
中国: SRRC: 民間用ドローンの無線管理に関する暫定措置 (意見募集用原案)	35
中国: CQC: ブラシレス電動工具用電子制御モジュールの安全認証開始に関する通知	36
中国: CQC: 防爆電気製品の強制製品認証実施細則の改訂に関する通知	36
中国: CQC: A/V 機器、情報技術機器、通信端末機器の強制製品認証実施細則の改訂	37
中国: 新規格リスト	37
台湾: 新規格リスト	38
韓国: RRA: 端末装置の技術基準改正告示 第 2020-6 号: インターネット関連用語定義追加	38
韓国: RRA: 通信事業用無線設備の技術基準の一部改正 (案) 行政予告 (意見収斂) 実施	39
韓国: KATS: 電気用品と生活用品安全管理運用要領の一部改正: 電力変換装置	40
総務省: ILS (計器着陸装置) の規定の一部を改正: 電波監理審議会 (第 1082 回) 会議資料	41
総務省: GMDSS (世界海洋遭難安全システム): 電波監理審議会 (第 1082 回) 会議資料	41
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の改正 (整合規格の採用等)	42
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の改正: 意見募集	42
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2020 年 9 月分)	43
厚生労働省: 【国内薬事】改正 QMS 省令のパブリックコメントが開始されました!	44
ちょっといっぽく~クイズコーナー IEC と ISO の用語検索ウェブサイト	16
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	24
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-11:2020 Ed. 3.0 (2020-01) – 電圧ディップ等 イミュニティ試験(2/2)

IEC: 規格解説: 家庭用電気機器の安全に関する規格 IEC 60335-1 の改訂版 第 6 版を発行

- IEC は、IEC 60335-1（家庭用および類似の電気機器－安全－第 1 部：一般安全要求事項）の改定を行ってきた。今回、最新版となる第 6 版を発行した。
- 消費者製品にデジタル環境が導入されてきていることから、サイバーセキュリティとソフトウェア管理を扱った新しい安全要求事項が取り入れられた。
- また、バッテリー式機器の新規要求事項が追加された、同時に、保護超低電圧回路（PELV）回路、耐湿性試験、及び、コンセントに差し込むための一体型ピンを有する機器の機械的強度試験についての明確化が、行われた。

USA: FCC: KDB: 送信モジュールデバイス、ならびに送信モジュールを組 み込んだ機器の認可

- 996369 D01 モジュール証明ガイド v02 は、セクション 15.212「モジュラー送信機」に基づく機器認可申請のガイドである。

USA: FDA: 医療機器の適合性評価のための認定スキームのパイロットプ ログラムを開始

- 米国食品医薬品局（FDA）は、医療機器の「適合性評価のための認定スキーム（ASCA）パイロットプログラム」に関するガイダンスを公開した。ASCA パイロットプログラムで認定された試験所が発行するサマリーレポートを FDA への医療機器申請の際に使用することができる。

EU, UK: 2021 年 1 月 1 日からの UKCA マークの使用についてのガイダン ス (2/2)

- UKCA (UK の要求事項への適合性が評価済み を意味する UK Conformity Assessed) マークは、グレートブリテン（イングランド、ウェールズ、スコットランド）で市販される商品に使用する、UK の新しい製品マークである。以前に CE マークが要求されていたほとんどの商品が対象となる。
- 北アイルランドの市場に出される商品については、UKCA マークだけを使用することはできない。CE マーク又は UK(NI)マークが必要である。

UK, EU: 車両: 2021 年 1 月 1 日からのグレートブリテン型式承認の発行に 関する最新のガイダンス

- 2021 年 1 月 1 日以降、EU-27 型式承認機関によって発行された既存の EU 型式承認（つまり、英国で発行された「e11」型式承認を除く）は、道路での使用に対して車両を登録する目的に於いては GB(グレートブリテン)で自動的に受け入れられなくなる。
- 2021 年 1 月 1 日からは、VCA は、有効な EU 型式承認を保持しているメーカーに暫定的 provisional な GB 型式承認を発行する。2021 年前半には、包括的 comprehensive な GB 型式承認スキームが、暫定的 provisional な GB 型式承認スキームに取って代わると予想されている。

社長の独り言

2020 年 10 月 23 日

濱口慶一

読者の皆様におかれましては、新型コロナウイルスによる被害を受けることなく、日々の業務に頑張っていらっしゃることと思います。

先月も書きましたが、弊社では感染拡大防止のためにお客様に体温測定やマスク着用にご協力をいただいています。しかし、毎日マスクをしていると息苦しいですね。何とも致し方ないのでしょうか？

人生も終盤戦にさしかかり、いろいろなことに思いをめぐらせている毎日ですが、「製品安全とは？」は常に考えさせられるテーマの一つです。製品安全の大部分は、最終的には安全性を判断する技術者の技術力に大きく委ねられるものと思われて悩むところです。リスク分析およびその妥当性の評価も大切ですが、上で述べた技術力の差が確認の結果に大きく影響を与えるように思うのですが？技術力の差で公平性を欠くような判断が出ないように教育を日々実践しています。安全の適合性評価に関する判断では、中立・公正な判定をすることが重要です。その判定で大きくその機器の安全性に関する信頼度が決まるように思います。

日本から“より安心安全“の言葉を世界に発信するためには、単にリスク分析による妥当性の評価を実施したから安全が確保されたというだけでなく、その妥当性を評価する要員が、新しい技術にも対応できる力が必要になるでしょう。

昔、UL サンタクララ事務所の技術者の車に乗せてもらってレストランに向かう途中、彼が新しい日本車を自慢するので、私が飛ばしてみたらと言ったことがあります。その時、彼が“Safety engineers must be safe.“と答えたのを今でも鮮明に覚えています。

最近監督省庁の特別聴取の中で、海外企業の脅威に関する質問や相談がありました。「国産ドローン」に関してですが、中国一強化の脅威への政府主導での対抗の現状として次のような話があります。先日、参加した展示会でのあるドローン会社の担当者から、同じ様に“今後一切外国製のドローンを国内では飛ばさないよう“との国からの指導を受けて、ドローン其の物の設計変更や機体の製造の国内製造への転換で大変ですとの声があったそうです。ピンチをチャンスに！です。

さて、趣味の日本蜜蜂の養蜂ですが、例年秋になると大雀蜂が子孫を残すための栄養源として日本蜜蜂の巣を襲い、蜜と日本蜜蜂の体液を食べに来ます。一度襲撃に成功すると、その後大勢で襲ってきます。ネットではこういう大雀蜂の行為を自然の摂理とし、野菜の青虫等も食べてくれるので人間にとっては有益だとして、大雀蜂の駆除をしないようにというネットでの意見が多くなり、今年は駆除をしていませんでした。これが大きな原因だったのか、大雀蜂の襲来が非常に多く、とうとう私が養蜂していた 2 群が全滅させられました。大雀蜂を駆除しなくても、なんとか日本蜜蜂を保護できないかと思慮して過ごす毎日です。

製品安全業界での 40 年の経験を生かすためにも、お困りのことがあれば、ぜひお声がけください。まだまだ新型コロナウイルスの状況は収まっていませんが、営業担当者が日本国内であればどこへでもお伺いしますので、私たちの経験を皆様のノウハウとしてお使いいただければ幸いです。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2020-11-01 (No. 125)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2020 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。